

「多言語版音声ガイドの制作」に係る質問事項について（回答）

通	該当頁	該当項目	質問	回答
1	全般	全般	—	入札説明書を修正しJICA HP（調達情報/公告・公示情報）へ掲載しております。 https://www.jica.go.jp/shotatsu/domestic/koji2022.html#yokohama
2	・手続・締切日時一覧 ・入札説明書 P.2	4. 手続全般にかかる事項 (2) 2) 書類等の押印省略	提出書類については、入札説明書の記載通りではなく、説明会でお話（手続・締切日時一覧4）があった通り、以下3点で合っていますでしょうか。  <3月20日にメール提出が必要な押印済み書類> 競争参加資格申請・下見積書・感想文の提出（+全庁統一資格証明を4点目として追加添付が必要）  <入札説明書：2ページ（2）2）> 機密保持誓約書、競争参加資格確認申請書、共同企業体結成届、下見積書、技術提案書、委任状及び入札書等の提出書類については、全て代表者印等の押印を原則	入札説明書の方では「技術提案書」が誤って含まれておりましたので、削除の上、「機密保持誓約書、競争参加資格確認申請書、共同企業体結成届、下見積書、感想文、委任状及び入札書等」に記載を修正しております。3月20日にメール提出が必要な押印済み書類は「競争参加資格申請、下見積書、感想文、全庁統一資格証明」の4点となります。
3	・入札説明書 P.6 ・手続・締切日時一覧	1 0. 入札書（1）	入札は「2023年3月29日（水）9時00分～正午まで」とあり、「入札書はパスワードを付して、メールで提出してください。入札書のパスワードは入札会開始時間から10分間の間に提出いただきますのでご注意ください。」とありますが、  説明会でお話のあった通り、「29日のメールおよび30日の入札会いずれもパスワード添付は不要」ということでしょうか、または「29日のメールのみ入札書PDFにパスワードをかける必要がある」ということでしょうか。後者が必要な場合、パスワードは29日のメール前にお電話して伺えばよろしいのでしょうか。	1 0. 入札書（1）の記載は誤りとなっており、「（1）入札書の提出方法は持参とし、郵送による提出は認めません。」と修正いたしました。1 0. 入札書（2）～（7）も下記の通り記載を修正しておりますので、併せてご確認くださいませ。  （2）入札書は、入札金額を記入して、次のいずれか（できる限り、1）の方法によってください。の方法により記名捺印し、封入してください。 1）代表権者による場合、その役職・氏名を記載し、職印を押し。（様式3の1） 2）代理人を定める場合、委任状を作成の上（入札会で提出頂きます。）、代表者役職・氏名及び受任者（代理人）の氏名を記載し、受任者（代理人）の印（委任状に押印されたものと同じ印鑑）を押し。（様式3の2） （3）再入札の場合の入札書は入札金額を記入して、次のいずれかの方法により記名捺印し、入札担当係員の指示に従い入札箱に投入して下さい。再入札の場合、入札金額内訳書は不要です。 1）代表権者自身による場合は、その氏名及び職印（個人印も認めます。）。（様式3の1） 2）代理人を定める場合は、委任状を提出のうえ、代理人の氏名及びその者の印。（様式3の2） （4）入札金額は円貨で記入し、消費税及び地方消費税を抜いた税抜き価格とし、千円単位で記載してください。 （5）落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10（消費税等）に相当する額を加算した金額をもって落札価格とします。 （6）入札書には、入札金額内訳書（任意様式）を添付してください。 （7）入札書及び入札金額内訳書は封入し、封筒には「工事件名」及び応札者の商号を記載してください。
4	入札説明書 P.6	1 0. 入札書（2）	「第1回目の入札は、入札件名、入札金額を記入して、原則代表者による入札書としますが」というのは、29日のメールにて様式の「入札書」を用い、「再入札では、必要に応じ代理人を定めてください。」については、30日当時に様式の「入札書（代理人ありの場合）」を持参するということでしょうか。	入札書の記載に誤りがありました。第一回目の入札は、入札書の提出はメールではなく、30日の入札会開催時に持参をお願いします。再入札方法の記載にも誤りがございましたので、入札書の方を下記の通り修正しております。  （3）再入札の場合の入札書は入札金額を記入して、次のいずれかの方法により記名捺印し、入札担当係員の指示に従い入札箱に投入して下さい。再入札の場合、入札金額内訳書は不要です。 1）代表権者自身による場合は、その氏名及び職印（個人印も認めます。）。（様式3の1） 2）代理人を定める場合は、委任状を提出のうえ、代理人の氏名及びその者の印。（様式3の2）
5	入札説明書 P.7	1 2. 入札執行（入札会）手順等	1 2. 入札執行（入札会）手順等 3) 技術評価点の発表とありますが、技術評価点とはどういったものでしょうか。また過去の業務実績への評価基準などはございますか。	入札書の記載に誤りがあり、該当箇所「入札執行（入札会）手順等」については、下記の通り、記載を修正しております。本入札では「3）技術評価点の発表」はございません。入札書に加筆修正しました関係で、P7、1 3. 入札執行（入札会）手順等に該当の記載が移動となっております。  1）入札会参加者の確認 機構の入札事務担当者が入札会出席者名簿を回付し、各出席者へ署名を求め、入札会出席者の確認をします。入札に参加できる者は各社1名とし、これ以外の者は入札場所に立ち入ることはできません。 2）入札会参加資格の確認 各出席者から委任状（代表権を有する者が参加の場合は不要）を受領し、入札事務担当者が参加者の入札会参加資格を確認します。 3）入札書の投入 各応札者は、封入された入札書を入札箱へ投入します。 4）開札及び入札書の内容確認 入札事務担当者が、投入された入札書（入札金額内訳書を含む。）の記載内容を確認します。 5）入札金額の発表 入札事務担当者が各応札者の入札金額を読み上げます。 6）予定価格の開封及び入札書との照合 入札執行者が予定価格を開封し、入札金額と照合します。 7）落札者の発表等 入札執行者が、予定価格の範囲内で最低額の入札金額を提示した者を「落札者」として発表します。入札執行者が、予定価格の範囲内で最低額の入札金額を提示した者を「落札者」として発表します。 8）再度入札（再入札） 「不調」の場合には再入札を行います。再入札を2回（つまり合計3回）まで行っても落札者がいないときは、入札を打ち切ります。再入札を行う際は、入札会出席者の希望に基づき、休憩を挟む場合があります。
6	入札説明書 P.9	1 2. 入札執行（入札会）手順等 5) 入札金額の発表	1 2. 入札執行（入札会）手順等 5) 入札金額の発表とありますが見取り額に最低制限価格の設定はございますか。	最低制限価格の設定はございません。入札書に加筆修正しました関係で、P8、1 3. 入札執行（入札会）手順等 5) 入札金額の発表に該当の記載が移動となっております。
7	入札説明書 P.14	請負契約書 4. 契約期間	「4. 契約期間 2023年4月中旬から2023年8月末まで」とありますが、実際は2ページに記載の「（4）業務履行期間（予定）：2023年4月中旬から2023年9月末」が契約期間となりますでしょうか。	入札説明書に誤りがありました。2023年4月中旬から2023年9月末が正しい記載となっております。修正を加えております。入札書に加筆修正しました関係で、P14. 請負契約書 4. 契約期間に該当の記載が移動となっております。
8	競争参加資格申請書	質問書/調達管理番号	競争参加資格申請書に記載が必要な調達管理番号を教えてくださいいただけますでしょうか。	調達管理番号は無記入で問題ございません。公告の案件名だけは記載ください。
9	仕様書 P.1	4. 委託業務内容詳細 ①多言語音声の制作 ア)	168点の音声ファイルの尺について、既存の日本語版（一般とジュニア）と同じ内容を翻訳いただいた上で外国語となるため、尺は多少変動するもののはほぼ同じと考えて良いでしょうか。	ほぼ同様と考えていただいて問題ございません。ご参考までに英語版の原稿は一般版とジュニア版あわせて約6300単語となっております。尺の上限はございませんが、来館者が苦なく聞いていただけるよう、ナレーション原稿は長すぎないものに整えてくださいますようお願いいたします。
10	仕様書 P.1	5. 委託業務内容詳細 ①多言語音声の制作 ア)	「利用者が多いと見込まれる英語ナレーション原稿」について、アメリカ英語でよろしかったでしょうか。	その理解で問題ございません。
11	仕様書 P.1	4. 委託業務内容詳細 ①多言語音声の制作 イ)	「委託者からの支給原稿は既存の日本語一般版、ジュニア版それぞれ28点を各言語のネイティブ・スピーカーが翻訳したものである。」とあるため、受託者にて「翻訳業務は不要」であり、「翻訳後の原稿をナレーション原稿に整える業務のみ」という認識であっていただけますでしょうか、念のため確認です。	翻訳業務は要しませんが、内容を理解された上で翻訳原稿をナレーション原稿に整える作業と校正が必要となります。
12	仕様書 P.2	4-②コンテンツ・マネジメント・システム操作によるデータ構築	HTML出力・HTMLサーバーアップロード・CMS操作の仕様を質問回答時にご提供は可能でしょうか。	情報流出のリスクがございますので、各マニュアルの共有は受託者の方のみに限らせていただきます。  CMS操作によるデータ構築作業では、委託者側で各マニュアルとCMSの搭載されたPC1台、作業用の会議室を用意します。受託者の方には当センターにお越しいただき、委託者同席のもと作業いただくことを想定いただければと思います。作業の所要日数は1日程度ですが、不具合で後日に作業延期することもありますこと、あらかじめ考慮いただければと存じます。